

2023年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023年8月1日～2024年7月31日)

EA21



エコアクション21
認証・登録番号 0005195

環境経営レポート



次代に残すべきものは
美しい地球



MAKE IT
Tomiken

富岡建設株式会社

認証・登録番号 0005195

発行日: 2024年11月20日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	2
組織の概要	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11

環境経営理念

全社員の幸福を基にして 社会に貢献する。

環境経営基本理念

富岡建設株式会社は、地球環境保全が人類の未来への課題であり、次代に残すべきものは美しい地球であることを認識し、社是として環境負荷の低減に努めます。

環境経営方針

1. 当社の事業活動、工事に関わる環境影響を常に認識し、積極的に環境への取組を行い、継続的な環境負荷の削減を図ります。
2. 当社の事業活動、工事に関わる環境関連の法令、徳島県条例、阿南市条例、その他を遵守します。
3. 当社の事業活動、工事に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - ①総エネルギー使用量(電力、化石燃料)の削減
 - ②水使用量の削減
 - ③廃棄物の削減及びリサイクルの推進
 - ④化学物質の適性維持
 - ⑤グリーン購入の推進
 - ⑥環境に配慮した製品・サービスの提供並びに施工
 - ⑦事務所周辺の清掃等地域社会への貢献
4. 環境経営の継続的改善に取り組み、環境経営のステップアップを実践します。
5. 社員一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境経営方針を社内に周知するとともに環境経営活動レポート等で社外へも公表します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し環境経営システムを推進します。

制定日 平成21年 (2009年) 8月11日
改訂 令和 6年 (2024年) 9月26日

代表取締役

岡ス真澄

□事業所の概要

(1)事業者名及び代表者名

富岡建設株式会社

代表取締役社長 岡久 眞澄

(2)所在地

本社 徳島県阿南市見能林町上かうや5番地2

資材置場 徳島県阿南市見能林町大坪および高道

(3)環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 専務取締役: 岡久 徹雄 TEL:0884-22-2305

担当者 専務取締役: 岡久 徹雄 TEL:0884-22-2305

(4)事業内容

総合建設業

徳島県知事許可(特-29)第815号 [許可有効期限 R5.4.20~R10.4.19].

(土木工事業 建築工事業 とび・土工工事業 鋼構造物工事業 舗装工事業
しゅんせつ工事業 水道施設工事業 解体工事業)

(許可を受けた工事業の一覧であり、必ずしも当該年度の事業活動とは一致せず)

事業の規模

完成工事高 6.3億円

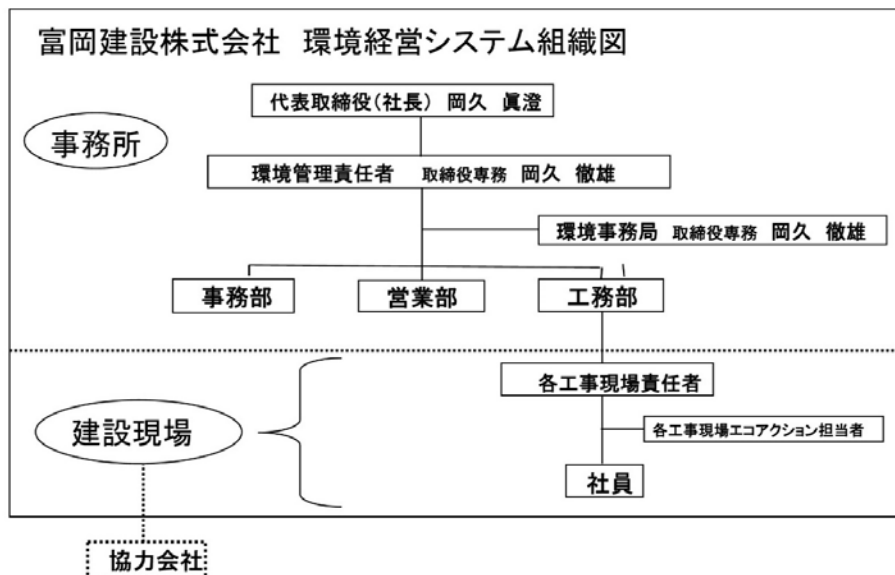
従業員 12名(活動期間13名)

事業所延床面積 583m²

倉庫床面積 486m²

資機材置場面積 1,875m²

(5)対象範囲



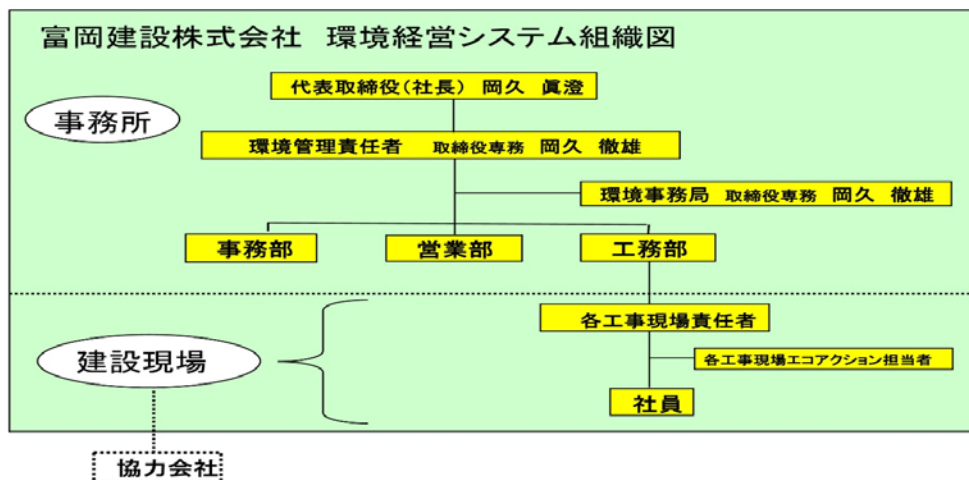
対象組織 上記の全組織 全活動 全従業員 但し、事業活動の鋼構造物工事業、水道工事業は除く

□取組の対象組織・活動の明確化

:代表取締役変更

1. 社長は、EA21を運用し、維持し、環境経営を実践するために、以下を実施する。

1)EA21活動組織を、次に定める。



及び権限を次により定める。

	役割・責任	権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> EA21の最高責任者 環境経営方針、実施体制の策定、改定及び全従業員への周知 EA21に関する経営資源の確保・分配 環境管理責任者の任命 EA21全体の評価と見直し 課題とチャンス明確化 次項の承認 環境経営目標及び環境経営計画 環境活動レポートの承認 	EA21の構築・運用・維持・改善に関する全権限
環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> 社長不在時のEA21代表者の代理執行 環境経営システムを構築・運用・維持・改善の実施 「代表者による全体評価と見直し」に必要な情報 チェック 環境関連法規のチェック表の作成と遵守確認 文書・記録類の確認又は承認 	EA21の構築・運用・維持・改善に関する実務上の権限
環境 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 共通文書、記録の作成、維持及び保管管理 環境関連法規のチェック表の作成と遵守確認 緊急事態の試行の実施 環境経営レポートの作成 EA21地域事務局の窓口 	環境管理責任者の指示により、左記に関する事項の全部署に指示する権限
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の指示事項の周知、実行 自部門内の手順作成、維持と運用管理 自部門内への内部コミュニケーションの実施 	左記の事項に関し、自組織内に対し指示する権限
工事現場責任者 エコアクション担当者	<ul style="list-style-type: none"> 各工事現場における環境方針の周知 各工事現場の従業員及び協力会社作業員に対する教育訓練の実施 	—
全従業員等	<ul style="list-style-type: none"> 手順及びルール遵守 	—
共通	<ul style="list-style-type: none"> 環境改善の提案及び改善の実施 	—

3. 環境管理責任者の任命

社長は、環境管理責任者を指名し、EA21のシステムの構築・運用・維持に関する責任と権限を与える。

4. 実施体制(組織、役割、責任及び権限)の周知

社長は、組織及び役割、責任及び権限を掲示等により全従業員に周知する。

5. 経営資源の用意

社長は、EA21の運用・維持管理に必要な、次の資源を用意する。

- ①人 (組織、法的資格者及び専門的な技術者・技能者を含む)
- ②もの (設備、機械、車両等)
- ③資金 (設備投資、教育投資等)
- ④情報 (顧客ニーズ、技術情報等)

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	2018年	2023年		評価	2024年	2025年	2026年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	4,574	4,437	2,588		4,391	4,345	4,302
	基準年度比	2018年	97%	達成率 171%	○	96%	95%	94%
LPガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	39	38	28		37	37	37
	基準年度比	2018年	97%	達成率 134%	○	96%	95%	94%
車両重機燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	62,306	60,437	38,605		59,814	59,191	58,599
	基準年度比	2018年	97%	達成率 157%	○	96%	95%	94%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	66,919	65,543	41,221		64,242	63,573	62,937
一般廃棄物の削減	kg	422	414	420		405	401	397
	基準年度比	2018年	98%	達成率 99%	×	96%	95%	94%
産業廃棄物の削減	t	1,310	1,271	1,803		1,258	1,245	1,232
	基準年度比	2018年	97%	達成率 70%	×	0.96	0.95	94%
建設副産物の再資源化率の向上	%	100%	100%	100%	○	100%	100%	100%
水道水の削減	m ³	243	236	152		233	231	229
	基準年度比	2018年	97%	達成率 155%	○	96%	95%	94%
溶剤使用量削減(あるいは適正管理)	kg	0	0	0		0	0	0
	基準年度比	2018年		達成率 —		97%	96%	94%
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)							

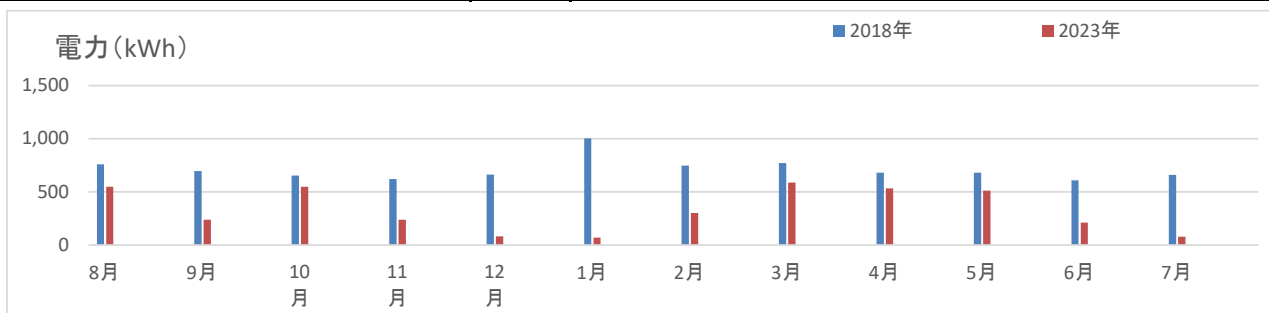
四国電力排出係数 0.533kg-CO2/kw

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

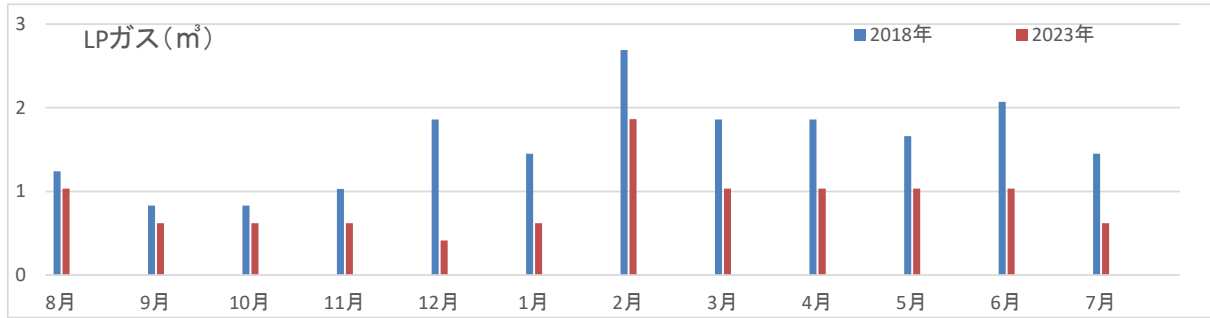
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	
・夏場の冷房温度を下限28℃に設定する	△	不在時消灯の徹底、効率的なエアコンの使用(熱中症対策除外) 事業所2Fエアコン代替による消費電力の減
・冬場の暖房温度を上限22度に設定する	△	



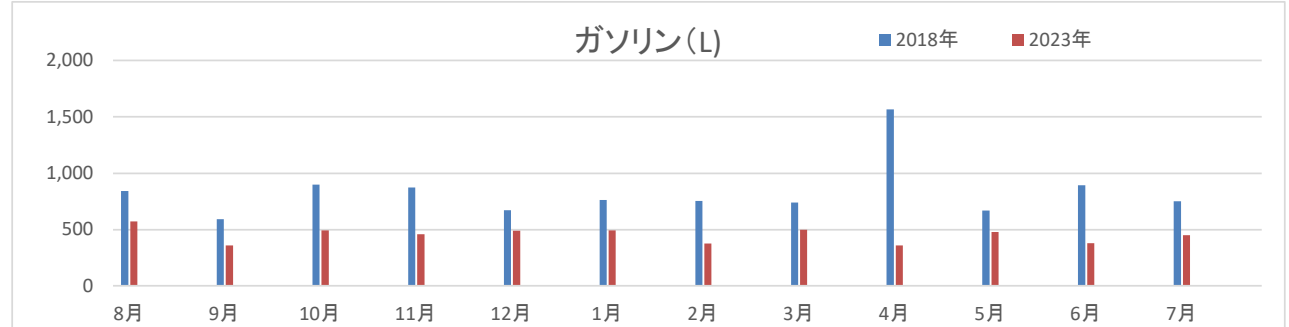
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
2018年	759	697	654	619	662	1,004	746	772	680	680	608	661	8,542
2023年	547	238	547	238	80	68	300	586	533	513	211	78	3,939

LPガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	事業所の給湯所での使用(主に食器洗浄)で使用量が少ないので、根本的な減量方策はない
・電熱とのバランスのとれた使用		

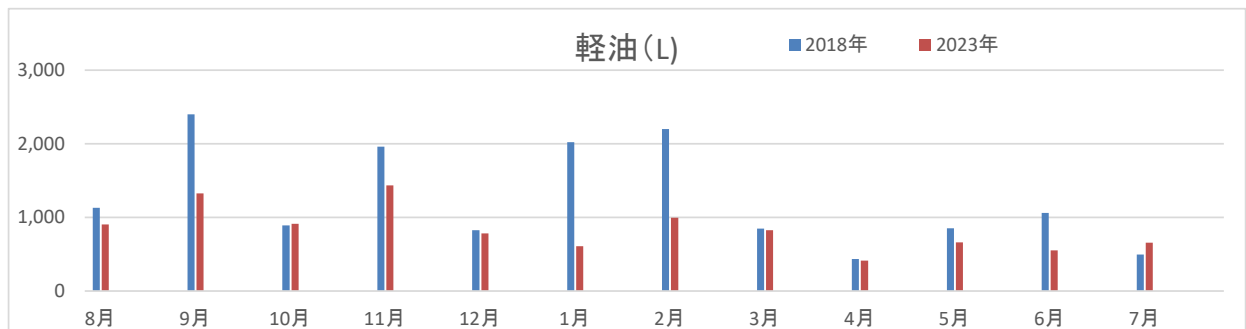


	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
2018年	1	1	1	1	2	1	3	2	2	2	2	1	19
2023年	1	1	1	1	0	1	2	1	1	1	1	1	11

車両重機燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	低燃費型建設機械の使用が一般化し、使用量は減る傾向にあるが、5Rの観点から古い機械車両も出来るかぎり運用していきたい
・車両重機のアイリングストップの徹底を行う	○	
・効率的な輸送ルートを選定	○	

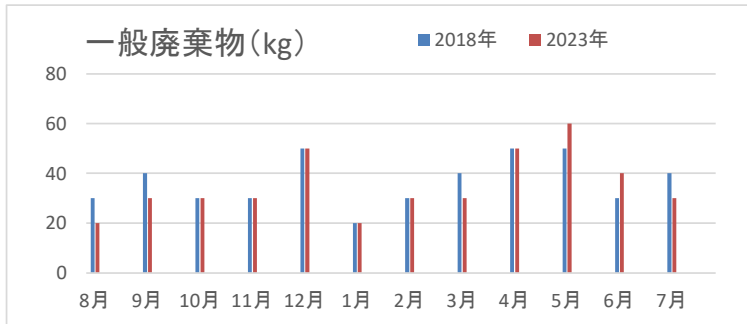


	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
2018年	842	594	901	875	673	764	754	741	1,568	670	894	752	10,027
2023年	573	361	495	460	492	493	378	500	361	480	379	451	5,422



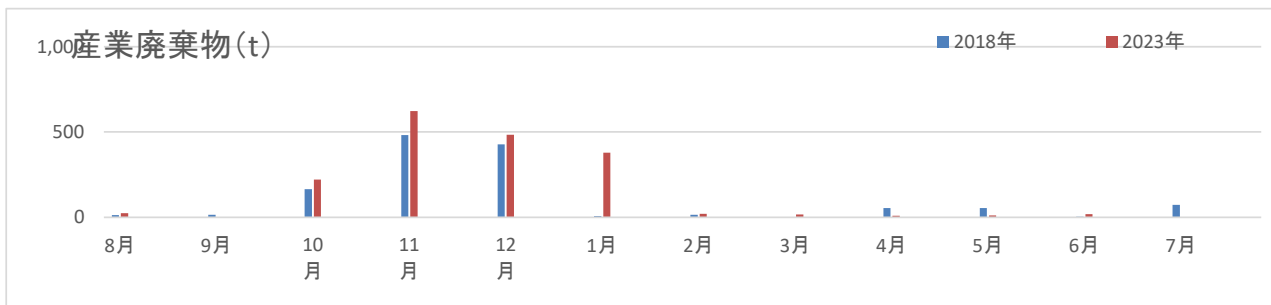
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
2018年	1,130	2,400	893	1,963	825	2,022	2,203	849	435	853	1,062	497	15,133
2023年	906	1,325	914	1,437	782	610	997	827	413	663	555	659	10,088

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	社内連絡にメールを多用するなど、印刷量の削減に努力している。 古紙(社外秘書除く)については地元古紙回収に協力し、段ボール等も含め すすんで提供拠出
・分別の徹底	○	
・裏紙利用	○	
・ペーパーレス化による印刷物の削減	△	
・梱包材の再利用	△	



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
2018年	30	40	30	30	50	20	30	40	50	50	30	40	440
2023年	20	30	30	30	50	20	30	30	50	60	40	30	420

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	法的、社会的責任として再生利用プラントへの100%搬入がエコ義務。 本来リターナブルであるべき梱包パレットが資材購入で資材置き場に 在庫が増えていき、最終的には混合廃棄物扱いとなる。引き取り等の 依頼をしても、ままならない。
・分別による最終処分系廃棄物の削減	○	



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
2018年	13	14	165	482	426	6	15	0	53	53	3	72	1,301
2023年	24	1	220	623	483	379	20	15	9	10	18	0	1,803

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	建築現場から発生する廃棄物は分別困難であったり、分別に手間がかかるため、混合廃棄物として排出し事実上分別のアウトソース化となっている。

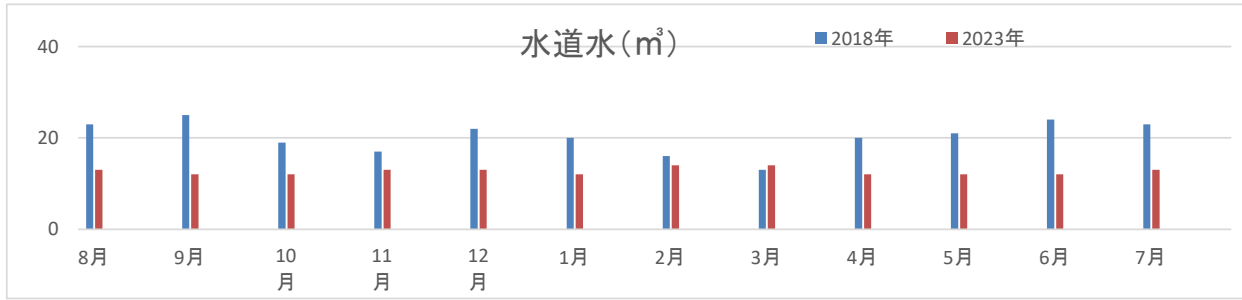


弊社シンボルキャラクター

無事かえる



水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	洗濯等を減量したため使用量減
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	BCP対応も踏まえ、井戸の設置を考慮する。
・ホース散水栓取付	○	



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
2018年	23	25	19	17	22	20	16	13	20	21	24	23	243
2023年	13	12	12	13	13	12	14	14	12	12	12	13	152

溶剤使用量削減(あるいは適正管理)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		対象物質含有製品の購入使用はなし
・有害性物質の表示の徹底	○	

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・有害性の少ない資材の購入	○	排ガス対策済のディーゼル機関搭載車両機械に入替済
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	事務用品(ファイル等)はエコマーク商品購入
・燃費のよい自動車の採用	○	
・事務用品グリーン購入	○	

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・排ガス対策機械の使用	○	工事施工においては、道路清掃、散水を実施して周辺環境に配慮
・環境に配慮した資機材の購入	○	
・廃棄物の再資源化の推進(別項目で実施)		



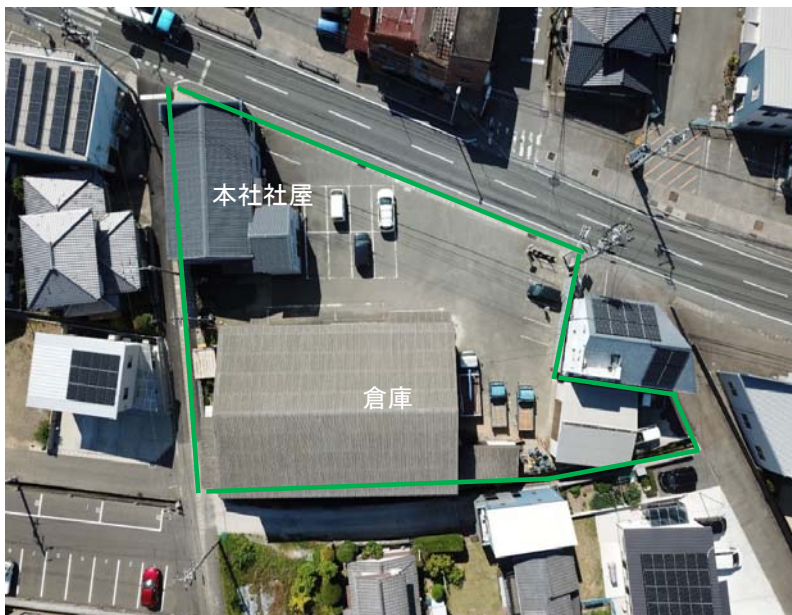
本社周辺緑化

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守確認
廃棄物処理法	収集運搬業、産業廃棄物(廃プラ、廃ガラス、廃油等) 運搬時マニフェストの携帯 報告書の提出 保管場所の掲示 搬入先の許可の確認	○
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準 特殊車両の規格確認	○
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限 特殊車両通行許可確認	○
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し(2022.5.13一部緩和)、安全運転管理者等 運転資格の確認 運行前点呼終業時確認(酒気帯び等)	○
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物 一定規模以上工事届出 マニフェストによる再資源化完了報告と記録の保存	○
騒音規制法	大型ブレーカー 杭打抜機 特定建設作業の届出	○
下水道法	除害施設 排水施設の管理	○
消防法(危険物)	危険物の保管 指定数量未満の危険物保管 届出	○
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫 フロン類の登録充填回収業者による適切な引き渡し 業務用空調機の簡易点検1回/3ヶ月	○
顧客要求事項	品質管理 品管法に基づく適切な施工管理 仕様書特記仕様書の遵守	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、**関係当局より**、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

本社全景 阿南市見能林町上かうや



資材置場 阿南市見能林町大坪



□緊急事態対応訓練

緊急事態記録
(発生・訓練・テスト)

(報告)	承認	確認	作成
岡久眞澄	岡久徹雄	岡久徹雄	岡久徹雄
社長	環境管理責任者	部門長	

区分	緊急事態発生 緊急事態対応訓練 手順テスト (該当項目を○で囲む)
日時	令和5年9月27日
緊急事態発生 訓練または テストの内容	場所: 本社駐車場
	内容: 油圧機器の油圧ラインが破損、またはエンジンプロー等により 油脂類が 周辺環境を汚染する危険性を想定 した対応手順の 見直しと関係者の初動手順および実作業手順訓練。 「油流出事故対応手順書」に基づき、油脂類に見立てた水を、 少量ずつ流し、機材の準備、連絡系統の確認、排水溝からの 外部への流出および、拡散を食い止める訓練を実施。
	訓練・テストの参加者 宮繁 岡本 徳田 中田 是松
担当部署 責任者	工務部 工務部長(専務兼任)
問題点 改善点 再発防止策 水平展開 確認事項 等	* 事故発生防止対策 定められた点検(特定自主検査、月次点検、始業前終業点検)の励行 作業に携わる者の、重機機械に対する愛情と知識 当社の機械車両にも老朽化している物があるので、油圧ホース等の目視点検必須
手順書変更	手順書変更の必要性: 有 <input checked="" type="radio"/> 無 (該当事項を○で囲む) 手順書名 : EMP-99-01 「油流出事故対応手順書」
備考	実施内容は社内会議等で水平展開する。

保管: 環境事務局

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年9月26日

【前回の指示への取組結果】

前回指示：限られた人材、資機材、受注機会を最大限に生かすため社内における『報連相』を徹底すること。

引き続き、安全工程会議、始業終業ミーティング等で『報告連絡相談』から『報告・連絡・相談・情報共有』をめざし、社員および協力会社の努力のもと、無理無駄のない人材資機材運用を図っている。
しかしながら受注の受け皿たるべき人材の確保が充分でないまま、社員の負担の上に経営が成り立ち、光陰矢のごとの言葉どおり、日数ばかりが過ぎていく現状ではある。ICTの取り組みとして「杭ナビ」「自動追尾光波測距機」は導入したが、ICT重機の導入には至っておらず、協力業者に依存している。
『働き方改革』の施行に伴い、社員の負担が減じられるよう、ワークバランスとマネーフローバランスを考慮しつつ、必要設備を導入できるよう、やはり『社内の報連相』を大切にしていく。

代表取締役

岡 入 真 澄

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

徳島県建設業協会阿南支部 地域貢献活動への参加

ロードアドプト県道285号線
河川一斉清掃 那賀川
四国遍路みち清掃太龍寺参道



これまで企業は「収益の一部(余ったお金)を使って社会貢献しよう」という考え方でしたが、SDGsでは「本業を通じて世界を変えていこう」という動きに変わってきています。